



「学校魅力化」を牽引するリーダー教員の力量形成プログラムの開発

教育学部附属教師教育研究センター 准教授 塩津 英樹

教育学部附属教師教育研究センターでは、2010（平成22）年度より、島根県教育委員会と連携して、学校で中核的な役割を果たすことが期待される主幹教諭・中堅教員等を対象に、「学校の組織マネジメント」を中心とした研修を企画・実施してきました。また、2017年（平成29）度からは、鳥取県教育委員会とも連携し、山陰両県の教員を対象とした研修を実現しました。

2019（令和元）年度には、山陰教師教育コンソーシアム（島根大学、島根県教育委員会、鳥取県教育委員会）を主体として、山陰地方の喫緊の教育課題となっている「学校魅力化」を牽引するリーダー教員の力量形成を目的に、新たな研修プログラムを開発しました。同プログラムでは、計4週間を通じて、地域との協働、魅力的な教育課程の編成、校内体制のすぐれた組織づくり、探究的な学びについて学習を行います。また、受講者一人ひとりが自ら課題を設定し、実際に現場に戻って実践を行うなど、理論と実践の往還を取り入れた研修内容となっています。

今後も、研修を一層充実させることにより、山陰両県の教員の資質向上に努めていきたいと考えています。

